



移住コンシェルジュの ぶらり鹿角散策

移住コンシェルジュが移住者ならではの視点で本市の魅力を発信しています。
問 政策企画課 鹿角ライブ促進班 ☎30-1310

移住コンシェルジュ……………真鍋雄次

除雪とスキーと私

鹿角市に移住して、3度目の冬を過ごしています。まだわずかな経験ではありますが、冬の鹿角を、除雪とスキーに注目してお伝えできればと思います。

鹿角に来て初めて体験した本格的な雪。最初の冬は、どこをどれくらい除雪すればいいかわからず、ただがむしやりに除雪する冬でした。もちろん水道管の凍結も経験しました。2度目の冬は、除雪をしなくてもよい場所があることを理解しましたが、やらなさ過ぎて大変な目に遭いました。3度目は、積もったらすぐに除雪したほうが楽なことを知り、頑張りましたが、今度はやりすぎて肘を痛めてしまいました。除雪は毎年大変ですが、たくさん雪と盆地であることによって良い面もあります。それはスキー場が近くにあるということです。

スキー場が近いということは、

朝いつも通りに起きて、洗濯や掃除などを済ませた後でも、「日帰り」でスキーを存分に楽しめるのです。皆さんにとっては当たり前のことかもしれませんが、私にとってのスキーは、泊まりで行くことが当たり前でした。

香川の場合、スキー場に行くには前もって予定を立てる必要があります。「そう、今からスキー行こう」は夢のまた夢です。なぜなら、自家用車でスキー場に行くときは、そのためだけにスタッドレスタイヤに履き替え、当日の朝は、午前4時に出発する必要があります。さらに、4時間もかけて向かったのに、スキー場まで到達できずに引き返したこともあります。



にとってスキーとは、それくらい特別で遠い存在でした。正直、スキー場滞在時間より、移動時間の方が長かったと思います。でも、鹿角は違います。場所によっては温泉も楽しめる、また、昼食を食べにスキー場を離れても、また戻ってスキーを楽しむことができます。それもこれも、鹿角ならではの環境だからこそ得られるものだと思います。これからも、スキーが日常的な鹿角の冬を、除雪と共に楽しんでいきたいと思っています。

移住コンシェルジュ……………高橋朋恵

鹿角の

お・み・や・げ

鹿角市で暮らし始めてさまざま

な発見がありました。その一つが「菓子店」が多いことです。道の駅に並んでいない「鹿角市民御用達」の銘菓も存在していることがわかり、洋菓子も和菓子も好きな私の日々の楽しみが増えました。

先日、鹿角市に出張で来られた方から「職場で配れる鹿角を紹介できるおみやげ」と聞かれ、すぐに頭に浮かばず紹介ができなかったのですが、今回は「職場に配りやすいおみやげ」を探して

きました。

移動や配る人数が多いことを考えると、「かさばらない」「常温で持ち歩ける」「個別包装」かつ「鹿角」が伝わるものを、今回は道の駅で販売されているお菓子を中心に探してみました。

たくさん銘菓があり、この記事だけでは紹介しきれませんが、天狗橋、おからと豆乳焼きドーナツ、錦木ロマン、焼きドーナツ、どばんくんクッキー、けいらん、だんぶり長者、たんぼマカロン、かづの北限の桃きん

つば、ラノウドウジョウモン(焼きドーナツ)、花輪ばやしの里ごまだれ餅、ほくげんのももクリームサンド、北限の桃グミと、たくさんあってとても驚きました。

移住コンシェルジュとして、移住体験のツアー参加者や移住相談者に、鹿角のおすすめのお菓子を紹介し、市のPRや認知度向上につながるよう、これからも取り組んでいきます。

私たちの日々の活動を、移住コンシェルジュのSNSで紹介していますので、ぜひご覧ください。遊びに来た友人や知人、帰省した家族などと、鹿角について話すきっかけになれば嬉しいです。



Instagramはこちら

